

## CS こひつじ科礼拝式次第

2020年11月1日 午前9時30分

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「いまだかつて、神を見たものはいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。」  
ヨハネによる福音書1章18節

11、うれしいあさよ（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ヨハネによる福音書14章6節

「わたしは道であり、真理であり、命である。

わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

おはなし 「主は救い主、イエス 一命に至る道一」 五十嵐美代枝先生

今日は、イエスさまが十字架につけられる少し前の時のお話です。

イエスさまが弟子たちに、「私とあなた方はもうすぐ離ればなれになる。私の行くところにあなた方は来られないからだ。」と言われました。そう言われて弟子たちはとても不安になりました。イエスさまはどこへ行くのか、イエスさまと離れたら自分たちはどうすればよいのかなど、考えるととても心配になったからではないでしょうか。

それでイエスさまは弟子たちにこう言われました。

「心をさわがせず、神さまを信じ、私を信じなさい」と。(ヨハネ14：1)

イエスさまが弟子たちと別れる理由は、このあと父なる神さまのおられる天に行き、弟子たちやイエスさまを信じる人々が主とともに永遠にすることができる場所を用意するためです。イエスさまは十分な用意をして戻ってこられたら、弟子たちや信じる人々を迎えに来て下さり、天の御国に導いて下さいます。このようなわけでイエスさまは弟子たちにもうすぐ離ればなれになると話されたのですが、弟子たちにはわかりませんでした。私たちは今、神のみ言葉である聖書がありますし、教会の牧師からお話を聞いたりしてわかりますが、その時の弟子たちはイエスさまの言っていることを理解することができませんでした。弟子のトマスは「主よ、どこへ行かれるのか私たちにはわかりませんし、行く道もわかりません。」とイエスさまに言いました。

それでイエスさまは「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」(ヨハネ14：6)と言われました。そしてご自身(イエスさま)こそが父なる神さまのもとに行くことができるたった一つの道であるとはっきりと示されたのです。父なる神さ

まのもと（天の御国）に行き、永遠にそこに住まうことで私たちは永遠に生きることができるということを教えて下さいました。

ここで、イエスさまは天の御国に行く道を教えて下さいましたが、それだけではなくイエスさまはその道そのものであり、それ以外に道はないと言うとても大切なこともこの時教えて下さいました。

それでは、なぜイエスさまで、イエスさまだけなのか？それはイエスさまが神の御子であり、私たちを罪から救い出すために天よりこの世に下って来てくださった。そして私たち人間の罪の身代わりとなって十字架にかかれ、死んでよみにくだり、復活され、天に昇り、私たちの救い主となって下さったからです。このような方はイエスさまのほかにはいないからです。

イエスという名前の意味は「罪からの救い主」と意味です。イエスさまは私たちの唯一の救い主です。この救い主イエスさまを信じて生きる道こそ、永遠の命への道です。道に迷わないようにしっかりイエスさまを見つめて歩み、イエスさまと共に生きていきましょう。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

朝礼拝においでの際におささげください。

56、歩こうイエスの道を（こどもさんびかをお用ください）